

2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：成蹊大学

【2022/6/5】

この試合のプレー集計

2部5-9																
上智大学	21	<table border="1"> <tr><td>3</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>4</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>8</td><td>—</td><td>2</td></tr> <tr><td>6</td><td>—</td><td>6</td></tr> </table>	3	—	4	4	—	2	8	—	2	6	—	6	14	一橋大学
3	—	4														
4	—	2														
8	—	2														
6	—	6														
	審判:	PSO														
		齋藤 夏輝														
		古元 美帆														

	48	SH数	35	
上智大学	5	速攻数	5	一橋大学
	20	ST・SB	12	
	10	SH・P誘発アシスト	11	
	33%	GK阻止率	43%	
	6	EX反則数	9	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

2部リーグ下位トーナメント戦ではあるが、2部リーグ個人賞の行方もこの両チーム選手の出来にかかっているという注目の一戦。

1P

序盤、一橋が積極的に攻撃し、上智の守備が機能していない状況を突いて、3連続得点。しかし上智も落ち着きを取り戻して、一橋に強いプレッシャーをかけ、ピリオド後半には、ボール接点で優位に立ち、そこを起点に⑤園田が連続得点して、ペースをつかんだ(上智3-4一橋)。⑤園田はこの試合、大量ゴールを生む気配があり、2部リーグ得点王の可能性を感じさせる立ち上がりとなった。

2P

ボール接点でやや後手を踏むようになった一橋だが、上智のシュートミスなどを突いて③篠原⑤後藤が得点するが、ペースをつかんだ上智は⑤園田にボールを集めて、上智7-6一橋で前半を折り返した。一橋は中盤でボールを奪われることが多く、上智⑤園田をフリーにさせてしまっているのをどう立て直すか。

3P

流れは上智のままで、⑤園田⑥依田が一橋ボールを奪ってから手数をかけずにシュート。それが次々に決まって点差がどんどん広がっていった。一橋はセンター⑤後藤に何とかボールを集めてシュート機会は得るものの、上智DFがなかなか決定的な場面を作らせず、第1ピリオド開始時のような勢いは完全に消えてしまった。あっという間に点差が開き、上智15-8一橋で最終ピリオドへ。

4P

ここでも上智⑤園田の勢いは止まらず、このピリオド5得点。試合終盤、上智が交代メンバーにした際に、一橋が連続4得点して追いすがったが、ボール接点でのキープ力の差がゲームに現れ、上智21-14一橋で上智の完勝となった。

この試合で上智⑤園田が14得点をマークし、一気に2部リーグ得点ランキング上位に進出した。また一橋のセンター⑤後藤はこの試合でも全ピリオドのセンターボールを奪取し、2部個人賞に大きく近づいた。